

## 1. 2008年ストックホルム世界水週間について

- (1) 開催日：平成20年8月18日（月）～22日（金）
- (2) 主催者：ストックホルム国際水研究所
- (3) テーマ：Progress and Prospect on Water: For a Clean and Healthy World  
(水についての進捗と見通しー清潔で健康的な世界に向けてー)
- (4) 概要：例年、国連等の国際機関、各国政府、NPO等が多く参加し、世界の水問題の解決に向けた様々な取り組みや研究に関する最新情報が紹介される。  
今年は、約2,400名を超える参加者があり、「衛生」「気候変動」「環境汚染と生態系」「水資源の管理」「越境水（国境をまたがる水資源）」等について、約90のセミナー、ワークショップなどが開催された。

## 2. 統合的水資源管理（IWRM: Integrated Water Resources Management）について

- 統合的水資源管理（以下「IWRM」と記す）は、水資源を開発、管理する上で有効な手法として国際的に認識されており、水と衛生の問題を解決するための有効なプロセスとして、2002年の持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）において、「2005年までに各国政府はIWRM計画を作成する」ことが国際合意事項となっている。
- 世界水パートナーシップ（Global Water Partnership : GWP）は、IWRMを「水や土地、その他関連資源の調整を図りながら開発・管理していくプロセス。その目的は欠かすことのできない生態系の持続発展性を損なうことなく、結果として生じる経済的・社会的福利を公平な方法で最大限にまで増大させること」と定義している。\*GWP：世界のIWRMの普及をリードするために1996年に設立された機関
- 今年5月に開催された国連の持続可能な委員会第16会期（CSD-16）において、国連水関連機関調整委員会（UN-Water）は、各国のIWRMの取り組み状況について行った調査結果に基づき、IWRM計画策定には一定の進展が見られるものの、さらなる取り組みが必要であるとの認識を示した。